

BRM1006 西東京 200km 道志みち～試走の記

By てびち～

9月22日（土曜）、AJ 西東京スタッフで試走しました。今回は一般参加の方が多いので、ちょっぴり初心に帰っての試走ご報告です。

今回のテーマはずばり、**ペース配分**。このコースは前半に大垂水、雛鶴（ひなづる）、道坂（どうさか）、山伏の4峠がデ～ンと立ちふさがっており、この“ヤマ場”をどうこなすかで、天国にも地獄になります。そのあたりがまさにオトナのロングライドなんですね！

スタート～PC1（セブンイレブン 都留戸倉店）

今野製作所に集合後、午前7時15分スタート（以降、キューシートのオープン、クローズ等とは15分遅れなので注意してください）。天候は曇り。祝日のせいか、町田街道は朝から交通量が多い。八王子BP手前から相原駅脇の踏切（9km地点）まで、さらに、法政大学入口Sから大戸S（13km地点）まで渋滞。R20の高尾山駅前までは信号も多いので、焦って踏んでも効率悪い。人車の調子を確認めるようにじわあ～っと行くのがおすすめ。



高尾山駅前を過ぎると信号、交通量ともにぐっと減り、走りやすくなる。1か所、R20BPとの合流点、高尾山インター入口Sへの道が付け替えられていて、こちらが左折する形になっている。まあ、大丈夫でしょうが、直進すると圏央道に入ってしまうですよ！

大垂水への道は緩やかな上りが続く。勾配がきつくなかったな思ったところで、東寒葉橋、西寒葉橋を過ぎれば峠はすぐです。



峠頂上から相模湖駅まで一気に下ってその後は少しアップダウン。相模湖IC (@34.2km) 手前は渋滞しやすい。日連入口S は下り途中の左鋭角カーブなので、通りすぎないように注意しましょう。相模湖に

かかる日連大橋を渡れば上り坂。橋を渡って 300m ほど先、右側にあるスリーエフは PC1 まで最後のコンビニ。補給などが必要なら、手前 R20 沿いのセブンイレブンか、ここで済ませておこう。



いつかは寄りたい『ブルベの樹』の先で、K517 へと右折すれば、いよいよ雛鶴峠へのアプローチ、秋山街道。最近とみに交通量の増した道志みち R413 とほぼ並行しているが、こちらはまだまだ静か、のどか。自転車パラダイスの雰囲気うれしく、つついがんばってしまいがちだが、無理は禁物。この後に控える道坂、山伏の両峠で“昇天”してしまうぞ。ここはひとつずつ上り坂をたどりながら走ってみよう。名付けて、**私家版秋山街道坂巡り**。①ゴルフ坂、②赤い橋の坂、③そばや坂、④おびや坂、⑤役場坂、⑥すしや坂、⑦ニューフェーン坂、⑧やどや坂（短いが急坂、工事中で片側通行）、⑨15坂、⑩まんじゅう坂、（坂の上には知る人ぞ知る、知らない人は知らない『**王の入まんじゅう**』、開店していれば坂饅頭いえ酒饅頭をどうぞ！）そして、最後に、⑪トンネル坂（雛鶴神社を過ぎればピークはもう近い）。名前のゆえんを考えながら上ってみてください。苦しさがまぎれるかも！？雛鶴峠付近からはリニア新幹線工事区間。工事車両が多く走っているの、じゅうぶん車間距離をとって。峠直下のトンネルを抜け、8キロの下りをこなせば PC1 です。

PC1 到着 10 時 38 分

区間距離 65.3km、所要 3 時間 23 分 + 補給&休憩 20 分 → 貯金約 30 分で出発



みなさん、富士吉田といえば…これ、うどんですね。太くて固いのですが、素朴な味わい。この PC はじめコンビニにあります。数に限りがあるので、当日は皆さんに回らないかもしれませんが、見かけられたらぜひご賞味あれ！

PC1～PC2（セブンイレブン 山中湖旭ヶ丘店）

うどんでお腹もくちくなったところで、いよいよ本日のメインディッシュ、道坂峠、山伏のダブル・パスハンです。PC1から都留BPを走ること3キロ弱、道坂への入り口は、トンネルを抜けて**谷村第二小学校前S**の先、デイリーヤマザキを過ぎたところ。頭上に大きな道路標識があるので見逃すことはないと思います。



法能Sから道は菅野川に沿って、最初は緩やかに上っていきます。この程度で標高1000m以上にたどりつくのだろうか？と思ったあなたはえらい！ツケはちゃんと支払わされます。勾配が一番きついのは、「道志15km」の標示のあるこのあたりからその先の杉並木、最初のヘアピンにかけて、1キロぐらいでしょうか。



その後も、2、3カ所のヘアピンを経て、高度を上げていきます。正面に携帯の電波塔が見えたら、そこが峠です。お疲れ様。ここから道志みちの**神地S**までの下りはひと休みなのですが、天気がいいとバイクが飛ばしてコーナーを攻めて来ることがあります。路面には完全にセンターを割ったタイヤ痕が黒々とついています。エンジン音がしたら、十分に気をつけて、キープレフトで走ってください。

さて、**神地S**の感応式信号を右折して、R413を**山伏峠**に向かいます。道の駅（水場あり）手前のデイリーヤマザキは閉店してしまった（帰路の右折ポイントにあった梶野店も同様）ので、補給は道の駅かその先の白井平のヤマザキショップで。ここは見違えるほど繁盛していて、クルマの出入りが多いので注意してください。

しばらく続いた緩斜面の道も白井平を過ぎるときつくなり始めます。道坂と違い、山伏の坂は波状攻撃、いくつかの急な区間のあとしばらく勾配が緩むというのを繰り返します。それも、奥道志、山伏という二つのキャンプ場を過ぎるといよいよ最後の山場です。目の前にズドンと急こう配のストレートが伸

びる。景色が変わらないのと道幅があるのが災いして、まったく進んでいないような錯覚にとらわれます。1本こなしただかと思うと、すぐもう1本。さらに止まってしまったように感じるのは、こちらの方が勾配がきついから。いずれも400mぐらいですから、一定のペースを保って、ペダルを回して行きましょう。その後、さらに仰角の増した斜面をS字に上っていくと、左側を流れていた沢を右岸に渡ります。ここで斜度が落ち着いたら、峠はもうすぐです。

峠直下の短いトンネルを抜けると、すぐにタイトな下り左カーブが2カ所。対向車のみならず、反対側の側溝が深いのでオーバースピードは禁物。また、ひと山越えると空気が変わって気温が2、3度下がることもある山中湖。寒く感じたら、早目になにか羽織りましょう。トイレは下りのローソン、**平野S**を左折してすぐの高速バス停およびセブンイレブンにあります。

難所をこなした喜びをかみしめながら湖畔の道を進んでいると、ブルベスタイルのライダーが次々“増殖”してきました。あれあれ？と思っていたら、この日はVCR青葉の明神200が開催されていたとのこと。**旭日丘S**を過ぎてすぐ、**PC2**のセブンイレブンに到着。賑やかな湖畔は看板も多く、以外と見落としやすいので注意してください。(去年は通過してしまったライダーがいました)ここは同BRMの折り返しPCにもなっていて、ランドヌール、ランドヌーズのみなさんと思わぬ交流が図れました。おたがい、ここをクリアできれば、まず完走はほぼ確実ということもあり、しばし歓談、ゆっくり休憩しました。

PC2 到着 (@103.0km) 13時33分、スタートから6時間18分

区間距離 37.7km、所要 2時間35分 + 補給&休憩 30分 → 貯金約10分 で出発

PC2~PC3 (セブンイレブン 神奈川清川店)

PC2からゴールまでは、基本的に下りです、基本的には…土山峠と蕪尾根の登り返しを除いて!! とはいえ、PC2からPC3は信号も少ない下りで、かなり貯金ができるはずですが、慌てることはないのですが、できるだけ明るいうちに山の中から脱出したいというココロです。もう脚はほぼ売り切れなのですが、下りが続く区間ですから、15キロ走るごとに数え直すと、30分、1時間と着実に貯金の残高が増えていきます。銀行通帳もこうならいいんだけどなあ、などと妄想してしまいます。152km地点の**梶野 (デイリーヤマザキ跡)**を右折したころには、貯金は2時間近くになりました。なにより、普段から走りなれた道に戻ってきたことで気持ちに余裕が生まれます。その後、少しのアップダウンをマイペースで走り、**土山峠**を下って、4時半、**PC3**に滑り込みました。

PC3 到着 (@167.8km) 16時31分、スタートから9時間16分

区間距離 64.8km、所要 2時間28分 + 補給&休憩 30分 → 貯金約1時間25分 で出発

PC3~ゴール (今野製作所)

コンビニに入るやいなや、同じく試走中のINGさんも到着しました。普段はずっと先を走っている彼ですが、最近、自転車に乗る時間がなかったうえ、宴席の付き合いも重なったとのことで大変つらい思いをされているとのこと。速い人ほどイメージと現実の違いに苦しむのかもしれませんが。以って他山の石とするべき教訓です。



コンビニのレジでは係の方が10月6日の下見と察して、準備を約束してくださいました。心強いですね。そのあともしばらく、3人でまったり休憩していましたが、どんどん傾くお日さまに急かされるように、5時にサドルにまたがりました。日没そして薄明かりの残るのはほぼあと1時間、20数キロ先の新小倉橋まで帰れるか…そして、まずは、最後の登坂、土山峠と葦尾根です。でも、その間に連続するトンネルも忘れないで！やまびこ大橋あたりでかならず前後のライトの点灯を確認したうえで、舗装の継ぎ目や排水口などにも注意して通過してください。

なんとか葦尾根を越え、丹沢あんぱんの直販所前まで来ました。茶髪の女の子が黄色い声と赤い看板で呼び込みをしています。でも、ここは先を急ごう。ひとしきり下って、串川橋Sを右折、ここからは道幅が狭く、カーブが多いので、クルマが多いので要注意です。さらに、宮原S手前は渋滞が発生しがち。今回も圏央道城山IC工事現場から約1キロでクルマが詰まっていました。クルマの脇は、速度、間隔にセーフティ・マージンをもって進んでくださいね。

新小倉橋を渡り、側道を上がって向原東側Sへ。右折すれば六地藏Sまでは直進です。信号手前のセブンイレブンは閉店、更地になっていますので、行きすぎないように注意してください。ここからは交差点名と目印を確認しながら、順々に曲がればゴールはすぐです。

試走の私たちがゴール近くのコンビニでレシートをもらったのは6時50分、ゴール地点に着いたのが7時ちょうどでした。お互いの健闘を称え、無事を祝い、そして、自宅までの安全運転に気を引き締め直して、ゴールをあとにしました。

ゴール到着 (@202.3km) 19時01分、スタートから11時間46分

区間距離 34.5km、所要 2時間00分 → 貯金 1時間14分でゴール

